

各位



2026年5月15日

会社名：スターティアホールディングス株式会社

代表者名：代表取締役社長 本郷 秀之

(コード番号 3393 東証プライム)

問合せ先：執行役員 CFO 植松 崇夫

(TEL：03-5339-2109)

通期連結業績予想と実績値の差異及び剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年2月13日に公表いたしました2026年3月期通期（2025年4月1日～2026年3月31日）の連結業績予想と本日公表の実績値との差異及び2026年2月13日に公表いたしました2026年3月期の配当予想につきまして、下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想と実績値との差異

(1) 通期連結業績予想と実績値との差異

(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	23,600	3,150	3,190	2,160	230.61
実績	23,790	3,242	3,294	2,318	247.58
増減額	190	92	104	158	
増減率	0.8%	2.9%	3.3%	7.3%	
前期実績	22,211	2,737	2,784	1,960	206.29

(2) 差異の理由

当社グループは、3ヵ年の中期経営計画の初年度として、既存事業によるオーガニック成長とM&A戦略の推進に注力してまいりました。当連結累計年度においては、2025年4月に迎えた新卒社員の早期戦力化が着実に進展すると共に、引き続き既存顧客との関係構築を軸としたアップセル、クロスセルに取り組んだことで、1人当たりの生産性が向上し、前年同期比較で増収増益となり、過去最高を更新いたしました。

その結果、通期連結業績における売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益において2026年2月13日に公表いたしました業績予想を上回りました。

なお、詳細につきましては、本日公表の「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

2. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2026年2月13日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
期末 1株当たり配当金	91円00銭 (内、記念配当8円00銭)	81円00銭 (内、記念配当8円00銭)	68円00銭
期末 配当金総額	887百万円	—	673百万円
効力発生日	2026年6月19日	—	2025年6月23日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金
(ご参考) 第2四半期末 1株当たり配当金	54円00銭	54円00銭	46円00銭
(ご参考) 年間 1株当たり配当金	145円00銭 (内、記念配当8円00銭)	135円00銭 (内、記念配当8円00銭)	114円00銭

(2) 理由

当社の2026年3月期における剰余金の配当につきましては、成長・発展に必要な資金を内部留保より賄いつつ、財務健全性の維持に努め、連結業績や今後の事業展開などを総合的に勘案し、累進配当を継続的に実施すると共に、連結ベースの配当性向55%を目途とした基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、2026年2月13日公表において、1株当たり81円としておりましたが、当期業績を踏まえ、配当方針に沿い、期末配当金を10円増配し、1株当たり91円00銭(内、創立30周年記念配当8円)の実施とさせていただきます。これに伴い、中間配当金54円と合わせた当期の1株当たり年間配当金は145円となります。

なお、期末配当金(剰余金の処分)につきましては、本日開催の取締役会にて決議を行っております。

また、当初、記念配当 8 円につきましては、累進配当の対象外としておりましたが、変更し、2027 年 3 月期の配当予想において、累進配当の対象といたしました。詳細は、本日公表の「2026 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以上